

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユ-葛飾区役所前		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 4日		2025年 9月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 9月 4日		2025年 9月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心できる環境づくり	視覚的な構造化や感覚への配慮を通じて、子どもが安心して過ごせる環境を整えています。	静かに過ごせる「クールダウンスペース」や「ひとりになれる場所」を設置します。
2	遊びを通じた発達支援	感覚遊び、模倣遊び、社会的なやりとりなど、遊びを通じて発達を促すプログラムを展開しています。	遊びの発達の意義や関わり方に関する研修を行います。他事業所や専門職との事例共有を通して、遊びの幅と支援の質を高めます。
3	保護者との連携	日々の連絡帳や面談を通じて、保護者との信頼関係を築き、家庭との連携支援を重視しています。	保護者向けの勉強会や黄龍の場を設け、家庭支援の質を高めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部連携の弱さ	保育所・幼稚園・医療機関などとの連携が限定的で、支援の一貫性に課題が残っています。	保育所・幼稚園・医療機関との情報共有を促進し、支援の継続性と一貫性を高めます。
2	活動中の支援の一貫性	スタッフ間での声掛けの方法や言葉の選び方にばらつきがあり、支援の一貫性に課題がある。 「できた」「すごい」などの結果評価に偏り、過程や意図への言語化が不足している。	過程評価や、意図の言語化を意識した声掛けをスタッフ間で共有します。 どのような声掛けが子どもの理解や自己肯定感向上につながるかを具体的に学びます。
3			